



愛寿会たより

春号
第 262 号
令和 8 年
2 月 発行



「未来を見据えた取り組みと感謝の意を込めて」

（令和八年 年頭のご挨拶）

令和八年の年頭にあたり、理事長としてのご挨拶を申し上げます。

昨年、社会福祉法人愛寿会は設立五十三年を迎え、関係者の皆様のご理解とご協力により、充実した一年を過ごすことができました。心より感謝申し上げます。

ご承知のとおり、少子高齢化の進行は、労働力人口の減少、高齢化率の上昇など、社会構造の大きな影響があります。高齢者・障害者福祉施設を運営する本法人においては、人材不足や多様なニーズに対応し、利用者様やそのご家族から選ばれる施設であることが重要で、そのためには、質の高い介護サービスを安定的に提供することが必要となります。

まず、深刻な職員不足を補うため、令和二年から外国人技能実習生、また、令和五年から外国人特定技能者を採用し、合計二十四名受け入れましたが、転職者も多く、なかなか、定着に至らず、令和八年二月以降も継続して勤務する職員は八名となりました。そこで、令和七年十二月に仁生園と第二仁生園で新たにインドネシアから特定技能者を十二名迎え入れました。彼らは介護福祉士の資格取得に向けて実務者研修を受講することとなり、その真摯な取り組みが当会の運営に大きく貢献してくれることを期待しているところです。

また、山梨県テクノロジー補助金を活用し、高齢者福祉施設での質の高い介護サービスの提供を目指し、昨年度は、眠りスキャンを全床に整備し、介護・健康状態の記録の充実と覚醒状況を適切に把握し、事故防止につなげましたが、今年度は、全床に

最新の眠りSCANeyeを整備し情報通信機器を連動させ、入所者・利用者様の状態をリアルタイムでスマートホンでも把握可能にし、安心・安全で必要なサービスを効率的に提供するとともに、介護スタッフの業務負担の軽減も効果を発揮しております。

現在の社会情勢において、介護・障害福祉サービス報酬の改定や物価高騰など、当会を取り巻く環境は厳しい状況にあります。こうしたデジタル化の進展は、今後、医療・介護現場の必須事項であり、これらの課題に対応するため、より一層の効率化と質の向上を目指し、持続可能な運営を進めて参ります。

さらに、感染症の予防対策にも引き続き重視し、利用者様の安心安全を確保する努力を続けることで、以前のようにご家族が自由に施設内で交流できる日が戻り、各種イベントも盛大に開催できることを目指しております。

私の好きな言葉に、聖徳太子の「和をもって貴しをなす」があります。この言葉の通り、和を大切にしながら、今後も民設民営施設の先達としての責任と自覚を忘れることなく、役職員一丸となり、さらなる発展に努めてまいります。関係各位の皆様には変わらぬご支援とご理解、ご協力をお願い申し上げます。

以上、令和八年の年頭のご挨拶とさせていただきます。

社会福祉法人 愛寿会

理事長 小宮山 光彦



眠りSCAN+眠りSCANeye

全床 導入レポート (第二弾)

昨年眠りSCANを全床導入した当施設は、令和七年に「山梨県 テクノロジーを活用した業務効率化事業費補助金」を活用して眠りSCANeyeも全床に追加導入しました。ベッドセンサーによる睡眠・離床検知と、映像や高度センシングによる動きの「兆候」解析を組み合わせることで、夜間の見守り体制が大きく変わりつつあります。以下は、現場で見えてきたポイントと今後の取り組みです。

まず、各機器の役割は明確です。眠りSCANはベッド上の体動や離床を検知して即時アラームを出すことで現場の初動を支援し、眠りSCANeyeは映像やセンシングデータから離床前の微細な変化や転倒リスクの兆候を解析して早期介入を可能にします。分かりやすく整理すると、以下のようになります。

- 眠りSCAN…ベッドセンサーで離床・睡眠状態を検知、即時アラームを発報。
- 眠りSCANeye…映像・高度センシングで動きの前兆を解析し、転倒リスクや行動傾向を可視化。

両者の連携により、単独機器では取りこぼしがちな微細な行動変化を早期に捉えられるようになり、状況判定の精度が向上しました。これにより夜間巡回のあり方が変わり、「とりあえず巡回」を減らして優先対応を行えるようになったほか、映像での状況確認により初期対応の迅速化と正確性が実現しています。現場での具体的な効果は次の通りです。

- 夜間巡回の効率化…無駄な巡回が減り、優先度の高い対応に集中できる。
- 初期対応の短縮…アラートから状況確認→対応までの時間が短縮。
- 転倒未然防止…微細な動き増加の早期発見により介入し、転倒を防いだ事例あり。
- 家族への説明材料として有用…記録が安心につながる。



実際のケースとしては、浅い睡眠が続いていた入居者の微細な動きの増加を検知して早期に介入、転倒を防止した事例や、データに基づく巡回見直しで巡回回数を削減しつつ事故発生ゼロを維持した事例があります（個人情報等は伏せています）。こうした事例は、定量的な評価（緊急対応時間や巡回回数など）を行うことで、さらに説得力のある報告にできます。

導入後の運用面では、機器の安定稼働とデータ管理、プライバシー保護のためのルール整備が不可欠です。運用上の留意点を挙げると以下の通りです。

- 定期点検・メンテナンスの体制整備
 - データ保存期間・閲覧権限の明確化
 - スタッフ研修と家族向け説明会の定期実施
 - 個人情報・映像データの取り扱い基準の策定
- 今後は蓄積したデータを活用して傾向分析を進め、予防ケアの高度化に取り組みとともに、導入効果を広く共有していく予定です。テクノロジはケアを置き換えるものではなく、スタッフと入居者一人ひとりに寄り添う支援であるという考えのもと、当施設は安心して効率的な夜間ケアの実現を目指してまいります。



移動の自由を支える一台

山日YBS厚生文化事業団様より

車椅子をご寄贈

このたび、公益財団法人山日YBS厚生文化事業団様より車椅子をご寄贈いただき、令和八年二月四日（水）十一時より、山日YBS本社地下二階MB西ホールにて、贈呈式が行われました。山日YBS厚生文化事業団理事長 野口英一様、関係者の方々より、参加各施設へ一台ずつ手渡して贈呈されました。

贈呈式には、山梨県立中央病院の小嶋裕一郎院長をはじめ、県内の三病院、六介護施設の代表、そして当会からは常務理事 園長の竹中が出席し、多くの関係者が新しい支援機材の提供を歓迎しました。



頂戴した車椅子は、当会が支援する利用者様の移動支援に活用し、安全で安心な外出や施設内移動の環境整備に役立ててまいります。

当会理事長 小宮山光彦のコメント「このたびのご厚志に深く感謝申し上げます。頂戴した車椅子は大切に使用し、利用者様の生活の質向上に努めてまいります。」

今後も山日YBS厚生文化事業団様との連携を大切にし、地域福祉の充実に努めてまいります。ご支援くださった皆様に心より御礼申し上げます。



笑顔あふれる新年の餅つき大会



令和八年一月五日、当施設で新年恒例の餅つき大会を開催しました。利用者・入所者様や職員に加え、当法人の小宮山理事長、インドネシアの特定技能者も参加し、和やかな雰囲気の中で新年の始まりを祝いました。



会場では伝統的な臼と杵を使って餅つきを行い、参加者は力を合わせてつき上げる楽しさを味わいました。出来たてのお餅はあんこ、きな粉、大根おろし、磯辺の四種で振る舞われ、日本の伝統行事を体験する特定技能者と利用者様・職員との交流も一層深まりました。

運営にあたっては手指消毒や作業スペースの確保など衛生・安全面に十分配慮し、参加者が安心して楽しめるよう職員一同で細やかに対応しました。

最後に、ご参加くださった利用者・入所者の皆さま、協力いただいた特定技能者の皆さま、準備に尽力した職員に心より感謝申し上げます。今後も季節の行事を通して、入所者・利用者の皆さまの笑顔あふれる暮らしづくりに努めて参ります。



百寿のお祝い

令和七年十二月二十四日・
令和八年一月二十日、北杜市
より百寿のお祝いをして頂き
ました。いつまでも元気に楽
しく過ごして頂けるように、
職員一同精一杯お世話をさせ
て頂きます。

お健やかにご長寿を迎えら
れましたこと、心よりお慶び
申し上げます。



特別養護老人ホーム仁生園

新春 書初め大会 (四階フロア)

筆に込める一年の願い

新年を迎え、四階フロアでは書初め大会を開催
しました。始まる前は「もう何十年ぶりかな」「うま
く書けるかな」と不安そうな声も聞かれましたが、
筆を手にすると自然と背筋が伸び、皆さんの表情は
真剣そのものになりました。

お手本を見ながら一文字ずつ丁寧にしたためる方
や、思い思いの言葉や力強く書かれる方など、取り
組み方は様々で、それぞれの個性が光る時間になり
ました。作品を見せ合うと会話と笑顔が広がり、久
しぶりの筆の感触や墨の香りを楽しみなながらフロア
は一気にお正月らしい華やかな雰囲気になりました。



新しい一年の始まりを穏やかに感じられるひと
ときとなり、職員一同、皆さまの一年が穏やかで
実り多きものとなることを願っております。



グループホームやすらぎ

懐かしいお正月

年を重ねると時間の過ぎる速さに驚くことが増
えます。「もう一年がたってしまったね」と入居
者の皆さんが口にするこもしばしばです。寒い
季節には昔のお正月の話題で盛り上がることも多
く、何をしたか、どんな飾りをしたか、お餅は丸
かったか四角だったかといった思い出が次々と語
られます。書初め、初詣、羽根つき、双六、花札
、福笑い、餅つき、百人一首、トランプなど、懐
かしい遊びの話題は尽きません。



「やすらぎ」では今年も恒例の書初めに始まり、手作りの福笑い、トランプ、かるた、そして昨年好評だった銭釣りゲームなどで楽しみました。福笑いでは目隠しをしても、助言する人やからかう人がいて何度も大笑いが起こります。

銭釣りゲームは手作りの偽札や偽銀貨、硬貨を釣り上げる遊びで、魔法の仕掛け付きの紙幣も用意しました。皆さんは大きくて可愛いがま口を胸に下げ、まず高額紙幣を狙い、次に銀貨、最後に硬貨と順に釣り上げていきます。



ゲーム終了の合図でがま口の中身を数えると、勝ち負けに関係なく偽物と分かっているにもかかわらず、勝り上がります。大きな声で笑ったあとのお茶は格別です。今年もこのような笑顔を見ながら一年を過ごせたらいいですね。



グループホーム「あきらま

新春カルタ大会

「こあらまで楽しむお正月」

お正月といえば、こあらまではカルタが大ブーム。読み手の言葉に耳を澄ませ、皆さん真剣な表情で札を見つめていました。「これでいいの?」「そこにあるから取っていいよ」といったやり取りが飛び交い、譲り合う姿も多く見られて、職員も思わず笑顔になりました。

大きくて見やすいカルタや童話を題材にしたもの、ことわざカルタなど種類も豊富にご用意いただき、札の絵を見て「素敵だね」と話したり、「このことわざ知ってるよ」と昔話に花が咲きました。今後とも楽しい時間を過ごしていただき、皆さまに笑顔あふれるひとときをお届けしてまいります。



身曾岐神社参拝 (一月上旬)

「初詣で祈る笑顔の一年」

一月上旬、寒さ厳しい中でも日差しの温かさが感じられる日に、入居者様と身曾岐神社へ初詣に出かけました。車中では「若い頃にお参りに行ったことがあるよ」「お正月過ぎたけど柚子はあるかな」などと会話が弾み、和やかな道中となりました。駐車場に着くと県外ナンバーの車も多く見受けられ、参加された方が「まだこんな人がいるんだね」と驚きを口にされましたが、境内は思いのほか落ち着いており、ゆつくりと参拝することができました。

拝殿前では二礼二拍手一礼の作法でお二人とも熱心に祈願され、穏やかな気持ちで帰路につきました。皆さまの一年が笑顔あふれる素敵な年となりますよう、職員一同願っております。



仁生園デイサービスセンター

年の瀬のしめ縄づくり

～手作りで迎える新年～

年の瀬、デイサービスでは恒例のしめ縄づくりを行いました。まずは藁を束ねて縄をなう作業から始まり、ご利用者様は手慣れた手つきで次々となつていきました。初めて挑戦される方も「上手にできないね」と笑顔を交えながら挑み、藁の香りに包まれて会話が弾む和やかな時間となりました。



後日には皆さんでなった縄を丸く結び、水引や扇などを思い思いの場所に飾りつけると、今年も素敵なしめ縄が仕上がり、館内は一気に新年を迎える雰囲気になりました。
ご参加くださった皆さまのご協力で心より感謝いたします。今後も季節の行事を通して、利用者皆さまに笑顔あふれる時間をお届けしてまいります。



小正月の繭玉づくり

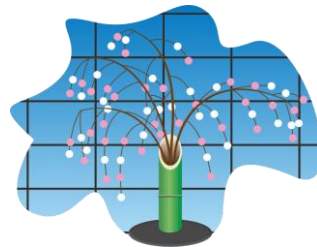
～五穀豊穡と無病息災を願って～

一月十五日の小正月に合わせ、今年も繭玉づくりを行いました。繭玉は枝に団子を飾ることで実った穀物や繭に見立て、五穀豊穡や繁栄、無病息災を願う伝統の飾りです。

白・ピンク・緑のお団子を皆さんで丸める作業では、「昔はよくお団子を作ったよね」「どんど焼きて今もしているのかしら」と思い出話や会話が弾み、和やかな時間が流れました。丸めた団子を用意した枝に丁寧に付けていくと、色とりどりの繭玉がフロアを華やかに彩りました。



仕上がった繭玉は参加者一人ひとりの願いが込められた作品として、施設の雰囲気明るくしてくれました。最後に別に用意したお団子を召し上がっていただき、視覚と味覚の両方で季節を楽しんでいただくひとときとなりました。ご参加くださった皆さまに心より感謝申し上げます。



第二仁生園

♪ まゆ玉作り ♪

一月十四日、まゆ玉作りをしました。枝に白や赤、緑の団子を繭に見立てて飾ります。

皆さん、「今年も元気に過ごせますように」と願いを込めながら、団子を手のひらで器用に丸める方、真剣な表情で丸める方、様々でした。午後にはみたらし団子を「花より団子」「甘くて美味しいね」と笑顔で頂きました。



北杜市立甲陵中学校様から
タオルと石けんのご寄付を頂きました

令和八年三月二日、北杜市立甲陵中学校様から、タオルと石けんのご寄付を頂きました。
毎年のご寄付に深く感謝申し上げます。



社会福祉法人愛寿会

後援会より

(令和七年九月一日)

令和七年十一月二十五日

後援会にご協力いただき
心から感謝申し上げます



- ・ 須貝 信子 様
- ・ 植松 育美 様
- ・ 坂本 忠征 様
- ・ 中山 幸男 様
- ・ 浅川 武仁 様



愛寿会のサービスへのご意見・ご要望等が
ございましたら左記までご連絡ください。

仁生園 電話 05551(32) 3340
第二仁生園 電話 05551(32) 8270

仁生園へ来園の皆様へお願い

新型コロナウイルス等への感染拡大防止対策を
しています。ご不便をおかけ致しますが、ご理解を
頂き、厳守していただく様、お願い申し上げます。

- ◆ 御用の方はインターホンにて、ご用件をお伝えください。
- ◆ 来園者全員のお名前を伺い、検温をします。
- ◆ 最少人数でご来園ください。
- ◆ 体調に少しでも不安がある方は、事前に来園をお控えください。

面会に関するお知らせ

☆正面玄関横にてガラス越しでの面会及び、施設外から「FaceTime」を利用した面会に加え、喫茶いこいでのアクリル板越しの面会を再開いたしました。



- ◆ 電話による事前予約が必要
です(電話をいただいた日
の一週間後から予約を承り
ます)。
 - ◆ 来園前の二週間は、ご自宅
で体温を測って下さい。
 - ◆ 面会時間帯は午前九時半〜十一時の間で十五分
間です。
 - ◆ 少人数での面会にご協力ください。
 - ☆仁生園では、ご家族様のお持ちのiPad、iPhoneを利用した「テレビ電話形式」の面会が可能ですのでご利用ください。希望される場合は、ご予約ください。
- ※感染症の状況に依り、急な面会制限をする場合がございます。お電話でお問い合わせいただくか、当法人のホームページにて案内しておりますので、ご利用ください。

求 人 募 集



社会福祉法人 愛寿会

福祉総合生活支援センター 仁生園

障害者支援施設 第二仁生園

介護保険サービス			
特別養護老人ホーム仁生園  定員 132 名	仁生園ショートステーション  定員 19 名	仁生園デイサービスセンター  定員 25 名	仁生園介護相談センター  定員 100 名
障害福祉サービス			
グループホームやすらぎ・こあらま  定員 9 名 2 ユニット	障害者支援施設第二仁生園  定員 30 名	第二仁生園ショートステーション  定員 3 名	第二仁生園相談支援センター 

【募集内容】

1. 介護職員、生活支援員

特別養護老人ホーム・デイサービス・グループホーム・障害者支援施設

給与 愛寿会の規程による(前歴加算あり、有資格者平均年収 430 万円) 賞与年 2 回・処遇改善

各種社会保険完備 各種手当あり(通勤、住居、扶養、寒冷地、特殊勤務・特殊業務、夜勤勤務他)

月 164 時間勤務 年間休日 120 日 シフト制・ユニホーム貸与・無料 Wi-Fi 接続可・試用期間あり

<シフト内容> ●早番 7:00~16:00 内 1 時間休憩 ●日勤 8:00~17:00 内 1 時間休憩

●夜勤 17:00~9:00 内 4 時間休憩

2. 看護師(正看、准看)

特別養護老人ホーム・デイサービス・グループホーム・障害者支援施設

給与 愛寿会の規程による(前歴加算あり、平均年収 470 万円) 賞与年 2 回・処遇改善

各種社会保険完備 各種手当あり(通勤、住居、扶養、寒冷地、特殊勤務・特殊業務、オンコール他)

月 164 時間勤務 年間休日 120 日 シフト制・ユニホーム貸与・無料 Wi-Fi 接続可・試用期間あり

<シフト内容> ●早番 7:00~16:00 内 1 時間休憩 ●日勤 8:00~17:00 内 1 時間休憩

●遅番 9:00~18:00 内 1 時間休憩

【お電話またはメールにてご相談ください】

連絡先 社会福祉法人 愛寿会 本部事務局 採用担当 統括施設長 竹中まで (平日 8:00~17:00)

〒408-0031 山梨県北杜市長坂町小荒間菅間 1293 番地

TEL:0551-32-3340(代表) FAX:0551-32-3546

URL:<http://www.aijyukai.com>

E-Mail:jinseien@poem.ocn.ne.jp



Facebook



ホームページ